

ビジネスユニット別概況

RFS

リコーフューチャーズ



小林 一則
リコーフューチャーズ
ビジネスユニット プレジデント

Message from Business Unit President

社会課題解決を通じ、グローバルスケールで世の中に意義のあるインパクトを与える

RFSは、「リコー独自の技術により、事業を通じて社会課題を解決する」「社会課題解決をイノベーションを通じ実現することで新たなリコーブランドを構築する」というミッションを掲げています。それを実行することによって、「はたらく」を変革するデジタル技術革新を通じて「地域・社会の発展」と「脱炭素/循環型社会を実現する」というビジョンを成し遂げていきます。新規事業創出における重要なポイントは、事業、すなわち「誰に、何を、どう届けて、ファンを増やすか?」を実現するために、技術開発と事業開発の両輪を同時並行で進め、「徹底的に考え、腹落ちして、つながるストーリーを作れているか?」であると考

えています。

リコー独自の技術を活かしつつ、オープンイノベーションで戦略的にパートナーとの共創を進めながら、ステークホルダーからの信頼を勝ち得て、ビジョンの実現に向け、誇りを持って取り組んでいきます。

事業の特徴・強み

ESGグローバルトップ企業を目指し、持続可能な社会の実現に貢献するイノベーションの創出に取り組んでいます。

- 社会課題解決に資する事業にフォーカスして、事業開発と技術開発を推進
- コーポレートR&D機能と連携した新規事業創造プロセスにおけるインキュベーション
- 既存事業を通じて蓄積したリコー独自の技術(光学、画像処理、AI、インクジェット技術、材料技術など)の活用やベンチャーとの共創、ファンド設立などによるオープンイノベーションへの取り組み

事業推進上のリスクと機会

労働人口減少を背景に現場での生産性向上が求められる中、業務のデジタル化のニーズが高まっています。また、社会の潮流である脱炭素・循環型社会の実現や健康寿命延伸への期待の高まりを、事業拡大の機会ととらえています。リコーの独自技術や顧客基盤といった強みをベースに、オープンイノベーションを掛け合わせ、社会課題解決と新規事業創出の早期同時実現を目指します。

リスク

- 社会課題解決型事業の具現化と規模拡大の遅延リスク
- ELSI(倫理的・法的・社会的な課題)対応力の欠如による企業信頼失墜/事業機会損失の発生
- 部品や原材料供給の遅延や停止によるサービス投入機会の損失

収益機会

- 360度画像を活用した現場のDXに対するニーズ
- 新たな感染症の脅威や経済安全保障を踏まえた国内創薬力強化に関するニーズ
- 環境負荷を抑えたバイオ素材に対する期待の高まり
- さまざまな用途に応じた高機能・高性能二次電池への期待の高まり

中長期の課題と21次中経の戦略

課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会課題解決に貢献する事業の具現化と規模拡大 ● オープンイノベーションによる新たなバリューチェーンの構築と顧客価値の創出 ● 重点化事業へのメリハリのある経営資源配分
戦略的取り組み	<p>21次中経では、社会課題解決に貢献する事業の規模拡大により、現場・社会領域における収益の柱を構築することを目指します。そのために、リコーグループのもつ技術のさらなる活用と、オープンイノベーションを通じた社会課題解決に取り組めます。同時に各事業の状況を見極め、メリハリのある経営資源配分と意思決定を行います。</p> <p>Smart Vision事業</p> <p>その場にいながらさまざまな空間にアクセスできる360度コンテンツの価値を、さまざまなユースケースに展開することを目指します。不動産物件の撮影や建設現場での現場DXに向けた活用に加え、新たな領域での360度コンテンツ活用にお客様と共に取り組みます。</p> <p>バイオメディカル事業</p> <p>2022年度にバイオテクノロジーのベンチャー企業であるエリクサジェン・サイエンティフィック社を子会社化しました。同社がもつ技術やノウハウとリコーの技術や強み、リソースを掛け合わせることで、iPS細胞を活用した創薬支援事業の強化や、日本国内におけるmRNA*を用いた治療薬製造基盤の整備・構築を進めています。人々の健康と安心への貢献はもとより、国内の経済安全保障の観点からも、医療用mRNAの製造能力のさらなる強化を目指し、ワクチンをはじめとするmRNA医薬品の創薬を支援していきます。</p> <p><small>*メッセンジャーRNA。DNAから遺伝情報の一部を写し取り、たんぱく質を合成する動きを持つ</small></p> <p>PLAiR事業</p> <p>植物由来でコンポストابلという特性を持つPLA(ポリ乳酸)を独自技術で発泡させた新素材の発泡PLAシート「PLAiR(プレアー)」で、化石資源由来プラスチックを代替し、新たなエコシステム構築を通じて環境負荷低減に貢献します。まずは、軽量で耐熱性をもつPLAiRの特徴を活かして食品容器に展開し、パートナーとの共創により事業拡大を目指します。</p> <p>インクジェット電池事業</p> <p>インクジェット技術を用いて充放電可能なリチウムイオン二次電池を自由な形状で製造する技術を開発しました。IoTデバイスやウェアラブルデバイスに向けた多種多様な電池提供をはじめとする、新たな価値を提供していきます。</p>

事業を通じた社会課題の解決

360度画像による建設業のDX化推進

2024年4月から働き方改革関連法が建設業にも適用されることを受け、労働生産性を上げることが急務となっています。建設業におけるDXが注目を集めている中、リコーでは2022年度より建設テック企業との協業にも力を入れています。RICOH360プラットフォームの提供で建設業の課題解決に貢献するとともに、360度画像・映像を活用した事業のさらなる拡大に取り組んでいきます。

株式会社log build 代表取締役 中堀 健一氏より

20年以上建築会社の経営者(元現場監督)として業界に携わり、2020年に設立したスタートアップのlog buildで、ゼネコン・ハウジング・リフォームなど建設領域の人材不足や高齢化、長時間労働、属人的

な管理体制などの社会課題の解決に取り組んでいます。リコーとの協業を通じて、さらなるUX(ユーザーエクスペリエンス)の強化と、360度写真による建設業のワークフロー全体の効率化を目指していただけることを非常に嬉しく感じ、今後も建設業界を盛り上げていく所存です。



図面と360度画像を紐づけて現場を管理